

科目の種類	必修	科目名	現代社会	学年	1	単位数	2
コース	進学コース						
教科書	実教 新版「現代社会」						
副教材	浜島書店「ニュービジョン現社」						
<p>科目のねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深めます。 2・現代社会の基本的な仕組みや問題点について考え、公正に判断するとともに、人間としての生き方について考えます。 3良識ある公民（主権者）として必要な能力と態度を育てます。 							
<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義形式の授業が中心となります。 ・夏休みにいくつか設定したテーマから選択し、レポートを書いて提出する課題を与えます。 ・副教材の資料集を活用します。 							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会について学習するのですから、新聞やテレビのニュースをよく見て、理解する努力をすることが大切です。 ・重要語句の暗記は大切です。しかし、暗記がすべてではありません。現代社会のできごとについて、「なぜ？どうして？」という疑問を持つことが大切です。自ら考え、調べる習慣をつけるようにしましょう。 							
<p>評価方法</p> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な用語や現代社会のしくみについての理解度についての出題になります。 							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験が中心になりますが、ノート整理や課題、授業への参加状況、出席状況などを加味し総合的に評価します。 ・ 確認テストなども行う予定です。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	1 現代の社会生活と青年 1 大衆社会 2 少子高齢化社会 3 高度情報化社会 4 青年期とは 5 青年期と自己形成の課題 6 職業生活と社会参加	私たちが生きてゆく現代社会の特徴を学習します。 1・大衆社会とは何かを理解し、その問題点と私たちのあり方を考えます 2・少子高齢化社会の原因・影響を理解し、課題・問題点を明らかにします 3・情報化社会の問題を理解し、情報化社会を生き抜くために大切なものは何かを学習します 4・5わたしたち高校生が属する青年期とはどのような時期であるかを確認し、青年期の意義を考えます。 6 自立した人間として社会で生きていくために必要な、適応と個性の形成を考えます。
	2 現代の経済社会と国民生活 1 資本主義経済のしくみ 2 現在の企業 3 市場のしくみ 4 景気変動と政府の役割 5 金融機関のはたらき 6 財政の役割と租税	1・資本主義の成立からその仕組みについて学習します。 2・経済主体としての企業の形態と役割、社会的責任を考えます 3・日常消費する商品の価格はどのようにして決まるか、市場原理と価格の変動を考えます。 4・資本主義における景気変動を捉え、経済成長と経済活動の大きさ、財について学習します 5・金融機関の社会の中での役割を学習します。 6・政府の経済的役割とその財源について学び、財政の問題点とあり方を考えます。
第 2 回 定 期 考 査		
後期	3 現代の民主政治と日本国憲法 1 民主政治の基本原則 2 日本国憲法の制定 3 自由に生きる権利 平等に生きる権利 ゆたかに生きる権利 4 新しい人権 人権のひろがりや公共の福祉 5 平和主義とわが国の安全	1・基本的人権の成立の歴史的背景を学習、民主主義の基本原則を考えその仕組みを学びます 2・日本国憲法成立の背景と基本原則・特色を学習します。 3・基本的人権の性格と基本原則を理解し、自由権・平等権・社会権についてその内容を学習します。 4・新しい人権成立の経緯とその内容について学習し、人権の国際的な保障についても考えます。 5・平和主義と現在の防衛問題について考えます。
	4 国際社会と人類の課題 1 国際政治の特質 2 国際連合と国際協力 3 第二次世界大戦後の国際政治	1・主権国家と国際法成立の歴史的背景と現状を学びます。 2・国際連合を中心に役割や現代の安全保障についての学習をします。役割をまとめ、非政府機関（NGO）の活動についても理解を深めます。 3・東西冷戦からイラク戦争までの戦後政治の流れを学習し、今後の日本の安全保障を考えます
第 4 回 定 期 考 査		
学 年 末 考 査		